

様式1 (視察用)

## 会派行政視察報告書

平成28年度 会派 青雲倶楽部の行政視察研修を、平成28年7月26日(火)から7月28日(木)までの2泊3日にて執り行いましたので、その概要を下記のとおり報告いたします。

平成28年8月15日

名取市議会議長 郷内良治様

会派名 青雲倶楽部  
代表 山田 龍太郎



### 記

- 1 期 日 平成28年7月26日(火)～7月28日(木)
- 2 参加人員 4名 (氏名) 山田 龍太郎  
郷内 良治  
及川 秀一  
村上 久仁
- 3 視 察 先 (1) 鹿児島県いちき串木野市  
(2) 鹿児島県姶良市  
(3) 宮崎県日向市
- 4 行 程 表 別紙のとおり
- 5 調 査 事 項 別紙のとおり
- 6 所 感 別紙のとおり



# 平成28年度 青雲倶楽部・市政クラブ視察研修行程表

日程	行程	視察先及び視察項目	宿泊
7/26 (火)	<p>仙台空港(8:00 発)⇒(伊丹空港経由)⇒(11:15 着)鹿兒島空港(11:20 発)⇒ (11:58 着)鹿兒島中央駅(12:29 発)⇒(13:05 着)串木野駅… 14:00~15:30 いちき串木野市議会視察…串木野駅(16:12 発)⇒鹿兒島中央駅… 鹿兒島市内宿泊</p>	<p><b>鹿兒島県いちき串木野市議会</b> 所在地 いちき串木野市昭和通133-1 電話番号 0996-33-5648 (事務局) 調査項目 1 企業誘致について - 貿易助成制度について -</p>	<p><b>JR九州ホテル鹿兒島</b> 所在地 鹿兒島市武1-1-2 電話番号 099-213-8000</p>
7/27 (水)	<p>鹿兒島中央駅(09:00 発)⇒(09:32 着)帖佐駅…<b>始良市議会視察</b>… 10:00~11:30 帖佐駅(14:30 発)⇒宮崎駅…宮崎市内宿泊</p>	<p><b>鹿兒島県始良市議会</b> 所在地 始良市宮島町25 電話番号 0995-66-3197 (事務局) 調査項目 1 有機就農支援について - 就農者奨励金制度について -</p>	<p><b>ホテルスカイタワー</b> 所在地 宮崎市高千穂通 2-1-26 電話番号 0985-31-1111</p>
7/28 (木)	<p>宮崎駅(08:06 発)⇒(08:51 着)日向市駅…<b>日向市議会視察</b>… 9:30~11:00 日向市駅(13:27 発)⇒(14:22 着)宮崎空港(17:25 発)⇒(伊丹空港経由)⇒ (20:55 着)仙台空港</p>	<p><b>宮崎県日向市議会</b> 所在地 日向市本町10-5 電話番号 0982-52-8343 (事務局) 調査項目 1 小中一貫教育について - 小中一貫校及び小中連携校の 取り組みについて -</p>	

空港へ7:15分集合  
(ANA カウンター前)

## 企業誘致（貿易助成制度）について

鹿児島県いちき串木野市

青雲倶楽部

及川秀一 村上久仁 郷内良治 山田龍太郎

要約 いちき串木野市は平成28年6月現在人口が約29,000人で、薩摩半島の西北部、東シナ海に面し日本三大砂丘の一つの吹上浜の北端に位置している。県都鹿児島市から北西へ約40km、JRで約40分、南九州西回り自動車道を利用すると車で約25分の距離にある。周囲は薩摩川内市、日置市と接し海を隔ててこしまれつとう甑列島を眺望できる。

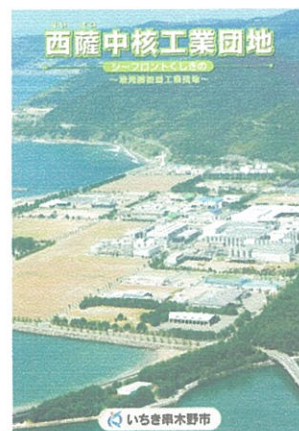
人口減少社会、少子高齢化、雇用の悪化、東日本大震災など悪化する社会情勢により、地方経済は依然厳しく、漠然とした不安感や閉塞感の状況のもと深刻化する人口減少や高齢化への対策が課題である。食の伝承（つけ揚げ約160年、焼酎約200年、遠洋マグロ漁業約130年）や、徐福伝説（2200年前）、薩摩藩英国留学生（約150年前）七夕祭、祇園祭などの文化の伝承を背景に、脈々と受け継がれてきた地場産業の地域資源を活用と地域社会が将来にわたり生き残れるために開拓者魂の気質で次世代に向けた転換を図るため、企業誘致や海外への販路拡大を図る政策を展開している。

企業誘致（貿易助成制度）への取り組みについて、先進事例を学ぶ。

### 1. 制度の目的と概要について

国家石油地下備蓄基地整備の土砂を利用して西薩中核工業団地（シーフロント串木野60.8ha）は独立行政法人中小企業基盤整備機構により整備された。串木野国家石油地下備蓄基地は、国内で使われる石油のほとんどを輸入に頼っている日本で、その重要な石油を備蓄するための国家石油備蓄基地として誕生した。この備蓄方式は、地下の岩盤に巨大なトンネルを掘り、そのトンネルをタンクとして石油を貯める方式で、1950年代にスウェーデンで開発され、その後世界に広まった。

「水と油は混ざらない」これが地下石油備



蓄の原理で、岩盤タンクのまわりにある地下水が、タンクの中の石油を閉じ込めているので、石油はもれることなく備蓄される。

地下備蓄タンク	(高さ 22m・幅 18m・長さ 555m) × 10基
備蓄容量	175万キロリットル(日本で使う約3日分の石油)

※施設の概要

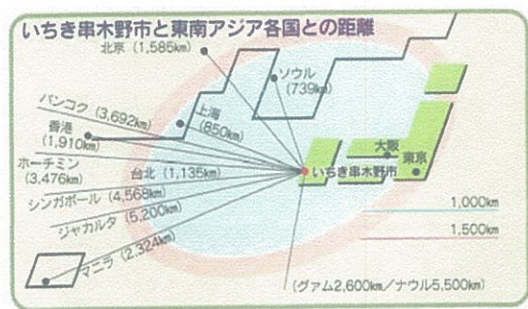


西薩中核工業団地は平成4年より供用開始され、15,000トンクラスの船舶が停泊できる串木野新港に隣接した臨海型の工業団地である。中国・韓国・東南アジア等への南の玄関口としての役割を目指し団地内には公共下水道終末処理場のほか、優良食料品メーカーが多く、さつま揚げ、焼酎など県内のトップクラスの企業が立地している。

## 2. 制度創設までの経過について

いちき串木野市経済の基幹産業である食品産業は、人口減少社会（若者流出・出生率低下）、少子高齢化社会の中で、円高・需要低迷・コスト引き下げ圧力・仕入れコスト上昇など厳しい経営環境が長期化する中、市総合戦略の重点項目である「食のまちづくり」と「環境維新のまちづくり」の中核となっている。

工業団地の規模は60.8ha（分譲対象用地52.5ha）で、未分譲地が12.0haありその企業立地の対応に苦慮している。



## 3. 実施状況と成果について

企業誘致・海外販路開拓と食のまち・環境エネルギーの横ぐし連携を図り、西薩団地の食品企業を中心とした既存企業の育成支援を行い、国内消費の落ち込みをカバー

するため海外へ販路を求めた。

主な取り組みは、

1. 海外貿易商談会等出店助成  
 参加に伴う経費助成

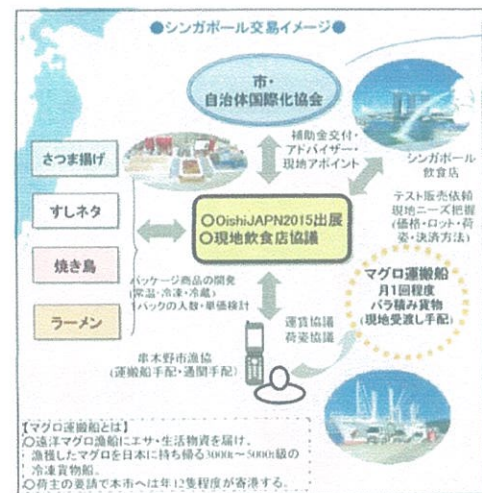
2. 開港促進補助

国内輸送費、通関、船積経費など

3. シンガポール商談会

いちき串木野市ブース出展

日本から出展数 294社、3日間で  
 11,000人来場、日本食の関心高い



4. 次世代エネルギーパーク認定、新エネルギー対象「経済産業大臣賞」受賞

高圧 6600v、特別高圧対応、下水処理で市公共下水道に排水可

5. ㈱いちき串木野電力でエネルギー地産地消



市が51%出資、電力自由化で市民へ多様なサービスの提供(H28.12～)などである。

#### 4.今後の課題について

工業団地の未利用地の処分と少子高齢化により経済情勢の悪化への歯止めが今後の課題である。

企業誘致・海外販路拡大により活路を見出す必要がある。食のまちや環境エネルギーの活用で国内消費の落ち込みを防ぐ必要がある。

#### 5.考察

いちき串木野市では工業団地の未分譲地の利活用や経済低迷や少子高齢化への対応問題が顕在化しており、その対策として、脈々と受け継がれてきた地場産業の地域資源を活用し、海外への販路を求め様々な自主財源を使った助成制度を展開している。



本市の災害危険区域の土地利用についても方向性や企業立地への対応策が見えていない。海外貿易商談会への参加や企業立地のエネルギーパークの位置付けと展開など、本市においていちき串木野市の先進事例に

ついて大いに学ぶべきである。

海外を視野に入れた仙台空港周辺の利活用など複眼の視点で、沿岸部の企業立地について早期復興を達成できる、今後の本市事業の展開を望むものである。

参考文献：

#### 【串木野港開港促進補助金】

串木野新港

いちき串木野の漁港

まぐろ

西薩中核工業団地

国家石油地下備蓄基地

串木野港開港促進補助金

<http://www.city.ichikikushikino.lg.jp/seisaku2/sangyo/boeki/hojo/kaiko.html>

#### 【いちき串木野市企業誘致】

<http://www.city.ichikikushikino.lg.jp/seisaku2/sangyo/yuchi/index.html>

#### 【いちき串木野次世代エネルギーパーク】

<http://www.city.ichikikushikino.lg.jp/seisaku2/sangyo/yuchi/energy/jisedai.html>

#### 【(株)いちき串木野電力が誕生】

<https://www.city.ichikikushikino.lg.jp/seisaku2/energy/ikpower.html>

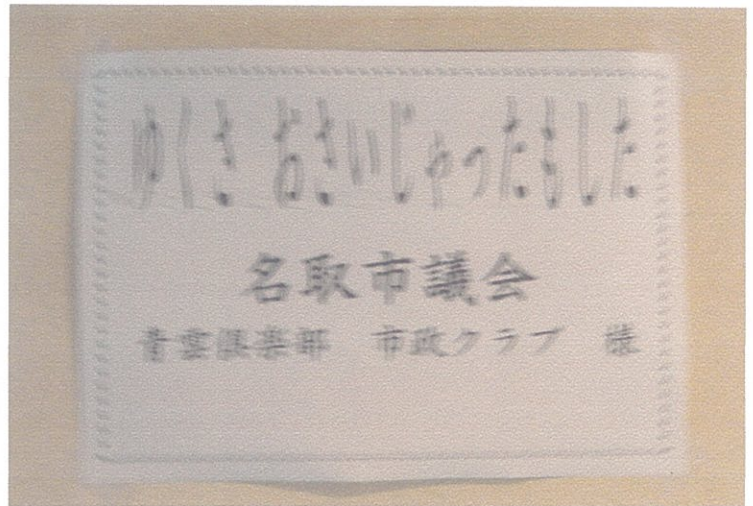
【〇いちき串木野市海外貿易商談会出展助成金交付要綱】

<http://www.city.ichikikushikino.lg.jp/seisaku2/sangyo/yuchi/jose/shodan.html>



青雲倶楽部／市政クラブ 行政視察 2016.07.26 (火)～28 (木)  
鹿児島県いき串木野市・姶良市・宮崎県 日向市

7/26 (火) いちき串木野市





### 鹿児島県いちき串木野市役所

政策課 課長補佐(兼)政策係長

出水 喜三彦

IZUMI KIMIHIKO

〒896-8601 鹿児島県いちき串木野市昭和通133番地1  
Tel (0996) 33-5634 (直通) Fax (0996) 32-3124  
E-mail seisaku1@city.ichikikushikino.lg.jp  
<http://www.city.ichikikushikino.lg.jp/>



★薩摩藩英国留学生記念館 since2014  
<http://www.ssmuseum.jp/>  
★食のまちいちき串木野 <http://ichiki-kushikino.com/>



旬の味、まの味、人の味



### いちき串木野市

議会事務局長

東 浩 二

〒896-8601 鹿児島県いちき串木野市昭和通133番地1  
TEL 0996-32-3111 内線 3310  
FAX 0996-32-3124



議会  
自宅

TEL 鹿児島県いちき串木野市昭和通一三三番地一  
TEL (0996) 三三一五六一四  
TEL 鹿児島県いちき串木野市東島平町一四七〇五  
(0996) 三二一二〇五

いちき串木野市議会  
議長 中里 純人



### 鹿児島県いちき串木野市役所

議会事務局

主任 軍 神 卓 也

〒896-8601  
鹿児島県いちき串木野市昭和通133番地1  
TEL (0996) 代 32-3111  
直 通 (0996) 33-5648  
FAX (0996) 32-3124  
E-mail gikail@city.ichikikushikino.lg.jp

★★いちき串木野市★★  
市制施行10周年  
薩摩藩英国留学生渡欧160周年



# 青雲倶楽部 行政視察 報告書

## 〈鹿児島県 始良市〉

青雲倶楽部  
山田龍太郎

調査項目 有機就農支援について

### 1 始良市の概要（現状）

始良市は、薩摩半島と大隅半島の結東店、鹿児島本土のほぼ中央に位置し、南は県都鹿児島市、西に薩摩川内市、東に霧島市と隣接しています。東西 23.7 k m、南北 24 k m に広がり、面積は 231.25 k m<sup>2</sup> で、鹿児島県総面積の 2.5% を占めている。北部は広大な森林を持ち、美しい山里が偏在、南東部は錦江湾に接し、桜島を遠望する風光明媚な海岸もあります。平成 22 年に「始良町」「加治木町」「蒲生町」の 3 町が合併し「始良市」となった。

近年、鹿児島市に隣接する便利で住みやすい街として、鹿児島県において人口が増えている数少ないエリアとなっている。

始良市のデータ：人口 76,323 人：世帯数 35,184 世帯：面積 231.25k m<sup>2</sup>  
(平成 28 年 1 月 1 日現在)

### 2 農業の概要

始良市では水稻と畜産や施設園芸等を組み合わせた複合型による農業が展開されている。そのため、農地用機能を高めるための、ほ場整備や農道などの農業生産基盤の整備を進めるとともに、後継者や担い手の育成、農業経営の強化を行い、地域の特性を活かした特産品の創出とブランド化及び販売拡大等により、農業全体の活性化と魅力ある農業を推進している。

さらに、減農薬、有機栽培等の環境にやさしい農業に取り組んでいる。

#### (1) 有機就農支援について

——— 就農者奨励金制度について ———

行政支援としては、就農者に対して奨励金制度を設け、設備投資など金銭的な負担の大きい就農初期を支援する。



奨励金の使途は農業資金だけでなく生活資金にも充てることができる。  
 また、有機栽培農家には最大で3年間の営農奨励金を助成する。

このほか、奨励金助成終了後も経営が成り立つように経営の改善・相談体制強化に努めている。

併せて、平成26年度から平成30年度までの概ね5年間の計画「始良市有機農業推進計画」を策定し、農家やJA、関係機関と協働でさらに有機農業の発展に向け取り組むとしている。

## (2) 組織化した有機農業 現在の状況

始良市の有機農業の歴史は古く、昭和50年代から取り組みが始まりました。

その特色は、始良有機部会（約30人）や蒲生有機野菜部会（約10人）といった部会が農家主導でつくられ、生産から販売、そして消費者との交流などの活動を組織的に展開している。

部会では、各農家が手分けし、できるだけ多くの種類を栽培し、効率的な「少量多品目生産」を進め、リスク回避と収入の安定化を図っている。

この部会に、JAや県、市が加わり頻繁に情報交換や販売促進に取り組んでいる。一般的な有機農業は、個人で営農を進めることが主流となっているので、この組織的な取り組みに対して、行政やJAが全面的に支援していることが全国的にも非常に珍しい事例となっている。

### 始良市新規就農者奨励金制度

区 分	奨 励 金	奨 励 金 額
新規参入農業者	就農奨励金	1人（夫婦1組）につき20万円
	営農奨励金	1人につき月額5万円 （夫婦1組につき10万円{夫婦で就農}） ・普通栽培農家24ヶ月（2年間）以内 ・有機栽培農家36ヶ月（3年間）以内
新規後継農業者	後継奨励金	1人（夫婦1組）につき30万円

### ◎鹿児島有機農業技術支援センター

平成20年度(有)かごしま有機生産組合が国の補助事業を活用し、有機農家を育てる研修施設を三拾町に建設した。

一年の長期研修コースでは、年間を通した有機農業のノウハウや技術を学ぶことができ、全国的に見ても数少ない施設であるため、修了生の半数以上

は県外から。研修費は、宿泊代込みで年間 60 万円。国の助成金（年間 150 万円）を活用でき、資金面での支援体制も十分整っている。

このセンターの修了生は就農率 100%。実習をはじめ、有機者による座学、有機農業が集う会合に参加できる機会など、研修を通じて修了までさまざまな生産者と交流できる。就農時に支援してくれる農家の方々関係機関との人脈も得られる。

## 考 察

一口に有機農業と言っても、実践するとなると大変な努力がいる。減農薬栽培とか、低農薬栽培といったレベルではなく、そもそもの土壌を根本から作り直さねばならない、つまり土作りが基本である。

毎年毎年土壌改良を重ね、土中の微生物を増殖させ、そこに育った植物が本来持っている自然の抵抗力を蘇らせ収穫までこぎつける。並大抵の努力ではない。

しかしながら、ここ始良市は昔から有機農業を細々と続けてきた農家の方が少数おられた。そして昭和 50 年代になってくると健康ブーム、有機栽培野菜、オーガニックな野菜が国民の関心を集め始めた。

始良市の行政側の支援と地元 JA そして有機農業を実践する農家の方々、三位一体となって取り組みが始まった。現在 JAS 認証制度の発足で、また違った意味で有機農業者のステータス、格付けとなりこれを目指すことが、農家の新しい励みと生産意欲の向上にも継っている。

JA は慣行農業つまり化学肥料、農薬を使用して生産した野菜しか共販体制での販売を取り扱わなかった。JA としては、有機農業者が増えれば JA 取扱い商品である化学肥料、農薬等販売数の落ち込み、売上減につながるとして有機農業者の生産物の取扱いには否定的であった。

しかし、有機野菜を始良市のブランドにして、まちおこしの一つに掲げた市長の思い、それに有機栽培を手掛ける農家数も 40 戸程であり、安定供給が出来るかと判断され、全国でも例のない JA 有機栽培野菜の共販体制が確立した。当面 70~80 品目栽培を手がけ、出荷した。野菜も、特に普通の慣行栽培に比べ価格も手間のかかる割には高いわけではないが、少しずつ隣接する大消費地鹿児島市にも販売がなされ、また、インターネット販売も定着しつつある。少しずつ認知されるようになってきている。



行政側の支援制度による新規就農者へのバックアップ、また、JA による有機栽培農家への支援、協力がなければ現在の姿はなかったと思料される。

農業生産者の高齢化、担い手つまり後継者不足は全国的な傾向であるが、始良市の取り組み見守っていきたいと思う。

- ・有機農業に取り組む新規就農者への支援
- ・有機農業に対する消費者の理解促進
- ・有機農産物の販路の確保

以上のこと今後もしっかりと取り組んでいくこととしている。

有機農業に挑戦することの意義は大いに感じたところである。また、先駆者たちの地味にこつこつ積み重ねてきた技術が、今、大きく花開こうとしている。(3年間無化学肥料、無農薬を守る。完璧な有機の土になるのには10年は要する。辛抱の農業、頭が下がります。)

この手法が名取市にマッチすることは無理があるけれど、行政側がJAと手をたずさえて、新しい市の顔を作ろうとしていることについて、形は違っていても、その気概は学ぶべきものと感じて来た所である。

青雲倶楽部／市政クラブ 行政視察 2016.07.26 (火) ～28 (木)  
鹿児島県いき串木野市・始良市・宮崎県 日向市

7/27(水) 始良市







県央の良さを活かした、県内一くらしやすいまちづくり

鹿児島県始良市  
農林水産部

農政課長

岩下直司

〒899-5392  
住所 鹿児島県始良市蒲生町上久徳 2399 番地  
TEL 0995-52-1211  
FAX 0995-52-1219  
URL <http://www.city.aira.lg.jp>  
e-mail [nosei@city.aira.lg.jp](mailto:nosei@city.aira.lg.jp)

活発な  
イメージキャラクター  
くすみん



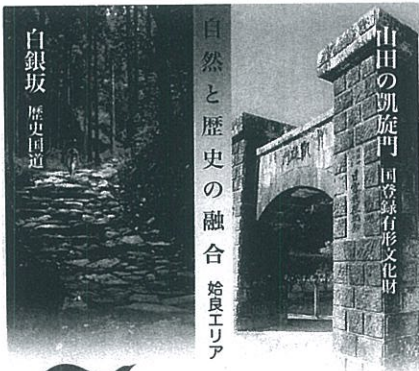
AIRA CITY



鹿児島県始良市  
議会事務局  
議事庶務課

課長 谷山 浩  
Taniyama Hiroshi

〒899-5492 鹿児島県始良市宮島町25番地  
TEL 0995-65-2332 (直通)  
FAX 0995-65-2372  
URL <http://www.city.aira.lg.jp>  
E-mail : [gchosa@city.aira.lg.jp](mailto:gchosa@city.aira.lg.jp)



白銀坂  
歴史街道

自然と歴史の融合 始良エリア

山田の凱旋門 国登録有形文化財



鹿児島県始良市  
農林水産部農政課

農政係長 別府伸二

〒899-5392 鹿児島県始良市蒲生町上久徳2399  
TEL 0995-52-1211  
FAX 0995-52-1219  
URL <http://www.city.aira.lg.jp>  
E-mail [nosei@city.aira.lg.jp](mailto:nosei@city.aira.lg.jp)

あいら

鹿児島県始良市議会

議長 湯之原一郎

議会事務局

〒899-5492  
始良市宮島町25番地  
(0995)65-2332  
[gchosa@city.aira.lg.jp](mailto:gchosa@city.aira.lg.jp)



日本一の巨樹 蒲生の大楠

たけ 33m

## 宮崎県日向市「小中一貫教育について」

視察日時 平成28年7月28日  
9時30分～11時

視察先 宮崎県日向市

視察対応者 日向市議会議員 畝原 幸裕氏  
教育委員会学校教育課

課長 塩月勝比呂氏

課長補佐 高森 賢一氏

指導主事 岩原 教昌氏

第1次産業 2, 120人 (7.2%)

第2次産業 8, 501人 (28.8%)

第3次産業 18, 111人 (61.4%)

分類不能 752人 (2.6%)

### 1. 日向市の概要

日向市は、宮崎県の北東部に位置し、尾鈴山系を南に日向灘を東に望み、市北西部の東郷町域から美々津・幸協地区を耳川が貫流している。日豊海岸国定公園の南端に位置する海岸線は、変化にとんだリアス式の海と白砂青松の美しい砂浜が続き、中でも「日本の渚100選」にも選ばれた「お倉ヶ浜」は、温暖で上質かつ安定した波が年間を通して楽しめる。

温暖な気候と美しい山々によって育まれた「森林文化」と、日向灘の恵みを受けた「黒潮文化」が溶け合った町であり、昭和39年に新産業都市の指定を受けて以来、宮崎県における産業開発の拠点として重要な役割を担うとともに、重点港湾「細島港」を擁する港湾工業都市として発展を続けている。

人口 H22.10.1国調 63, 223人

H28.4.1現在 61, 463人

世帯数 H22.10.1国調 24, 791世帯

H28.4.1現在 24, 800世帯

面積 336.93km<sup>2</sup>

都市形態 港湾工業都市

産業別就業人口

### 2. 日向市における小中一貫教育のながれ

日向市における小中一貫教育は、平成18年4月に開校した平岩小中学校（通称）に始まり、現在、大王谷学園、東郷学園の3校が一体型の教育を行っている。また、他の中学校区（4学区）でも連携型小中一貫教育の推進として実施されている。

しかし、小中一貫教育に至る経緯は、平成9年の学社融合教育の推進まで遡る。平成12年文科省、県指定中高一貫教育（連携型）実践研究を行い、翌13年学社融合教育を基盤に小中連携の推進を図り、平成14年近隣中学校間の教科交流授業、平成15年隣接小中学校間（小中連携推進校指定）の教科交流授業を開始した。そして平成17年「日向市小中一貫教育審議会」を設置し、基本計画の策定、特区申請を行っている。なお、審議会の構成メンバーは次の通りである。

会長 日向市東臼杵郡医師会（学校医）

副会長 日向市区長公民館長連合会会長

委員 日向市PTA協議会会長

委員 日向市青年会議所直前理事長

委員 日向市立小学校校長代表

委員 日向市立中学校校長代表

委員 各小中学校区代表（区長・民生委員他 7名）

委員 日向市PTA協議会事務局

顧問 大学教授2名、県教育委員会1名



### 3. 日向市小中一貫教育導入の意図

恵まれた自然、先賢の精神、豊かな人情などの日向市の教育資源を生かしながら、小・中学校9年間を通した一貫教育を推進することにより、「ふるさと日向を愛し、豊かな国際感覚をもち、確かな学力と豊かな心を身に付けた、自分に自信と誇りをもって社会に貢献しようとする気概のある子ども」を育成することを目指している。

その中で、いわゆる“中1ギャップ”をいかに解消するかが大きなネックとなっていた。この中1ギャップを解消する一つの方法として小中一貫教育が導入されたと推察される。また、教育的課題（学力向上、不登校児童・生徒への対応など）も導入の一つの要因であった。

#### ※中1ギャップ

※中学校入学後に、学習や生活面での大きな環境変化に適應できず、不登校やいじめが増加する現象。ギャップ（大きなずれ）には二つあり、一つは、小学校では少なかった問題行動が、中学校に入ると急増するという、現象としてのギャップ、もう一つは、学校の制度や指導の方法が大きく変化するという環境のギャップである。中1ギャップの問題行動の多くは、中学生になって新しい友人・人間関係が築けなかったり、学習や部活動についていけなかったりすることをきっかけに、本人が自信を失い、不安や不満を募らせることが原因ではないかと考えられている。

社会生活におけるコミュニケーション・スキルの未熟さや、新しい環境への不適應などに起因して問題を起こすケースは、中学校だけではなく、高等学校進学後にも同様の状態に陥る生徒が多く、「高1クライシス（危機）」とよばれる。また、小学校第1学年においては、入学時の不安定な状態が長引き、集団行動がとれず、授業中に着席してられない、教師の話を聞かない、といった問題行動がみられることがあり、これは「小1プロブレム」といわれる。このような問題は、上級の学校へ進む際の急激な環境の変化による精神的・肉体的な負荷をできるだけ小さくすることで解消される場合が多い。そのため、小・中一貫教育による学校再編をはじめ、小学校と中学校の連携を強化し、入学前の交流活動や、子供について継続的に記録し、それ

を引き継ぐための小中連携シートなどの資料づくりが行われている。また、入学後の児童生徒の心理状態を把握するため、内省ノートやアンケート調査によるストレスチェックを行いながら、自立を促すようなクラスの活動を行うといった取り組みが進められている。東京都において、近隣の小・中学校の間で教職員同士が情報交換会を開いている学校は、2012年（平成24）で9割ほどに上る。さらに、中学校教師による小学校への授業参観、小・中学校教員の合同研修など、交流事業を行っている学校が7割前後に上っている。

（日本大百科全書（ニッポニカ）の解説）

### 4. ひゅうが学校教育プラン

日向市の学校教育は、「第二次宮崎県教育基本計画」（平成23年度～）を踏まえ、「新しい日向市総合計画」（平成19年度～平成28年度）に即し、「ひゅうが学校教育プラン（日向ならではの教育）」の具現化に努めている。

児童・生徒が義務教育9年間の連続する教育課程の中で充実した教育を受けることができるよう、全ての学校において小中一貫教育を進めることとしている。また、学校と家庭、地域社会が一体となった学社融合の教育と、日向市の恵まれた自然環境や地域性を最大限に生かしたふるさと教育も推進している。



日向市の「ひゅうが学校教育プラン」



## 5. 小中一貫教育の推進体制

「日向ならではの教育」の根幹をなす一貫教育を推進するため、「一体型小中一貫教育推進連絡協議会（平岩小中学校、大王谷小中学校、東郷中学校区で構成）」と「連携型小中一貫教育推進連絡協議会（富島中学校区、美々津中学校区、日向中学校区、財光寺中学校区、東郷中学校区、坪谷中学校区で構成）」を組織し、研修会等を実施している。

なお、「一体型小中一貫教育校」である平岩小中学校（並置型）と大王谷小中学校（併設型）では、学校施設、組織・運営ともに一体した小中一貫教育を行っている。他の学校においては、「連携型小中一貫教育校」として、中学校区ごとに既存の小学校と中学校それぞれの学校施設、組織・運営を維持しながら、連携した小中一貫教育を行っている。

### 具体的方策

- ① 小学校教員の中学校での授業や中学校教員の小学校での授業、交流授業等を積極的に推進し、児童生徒の個性と能力の伸長を図るとともに、小学校と中学校間における指導の円滑な接続に努める。
- ② 小学校教員と中学校教員の授業参観などの交流と、児童生徒の部活動や体験活動や選択教科等での交流を積極的に展開し、小・中学校の教職員が児童生徒の実態を共通理解することともに、児童生徒の発達段階に応じた早期かつ多様な教育活動を行うようにする。
- ③ 日向を知り、日向を愛し、日向の将来を考えることができ、日向市民としての自信と誇りをもつことができる児童生徒を育成するため、「ふるさとの時間」を設定し、日向市の歴史、文化、産業などについて9年間の系統的な学習を展開する。
- ④ 国際貿易港の細島港を有する背景から、将来、市民レベルで国際社会に適応で

きる児童生徒を育成するために、日常生活に直接役立つ英会話を中心とした英会話科の授業を小学校1年生から実施する。

- ⑤ 小中合同研修会等を実施し、中学校区における課題を明確にした上で、小中一貫した学習指導の工夫・改善を図る。  
また、中学校区で、地域の児童生徒の学力の実態を踏まえて、特に国語科、算数・数学科、英会話科を中心にカリキュラムを工夫し、9年間のスムーズで効果的な学習の展開を図る。
- ⑥ 道徳教育、人権同和教育、特別支援教育、食育、体育、生徒指導等における目標及び方針、指導の在り方について中学校区で共有化を図り、小中の協力体制のもとに効果的な指導を行う。
- ⑦ 学校評議員制度や学校運営協議会制度の機能を生かしながら学校経営を行うとともに保護者や地域住民との連携を十分に図りながら、地域と一体になった学社融合の教育を進める。

## 6. 日向市小中一貫教育の特徴

日向市の小中一貫教育の特徴としては、次の3点が上げられる。

- ① 6・3制の弾力化  
(一体型小中一貫校)
- ② 「英会話科」の新設
- ③ 「ふるさとの時間」の特設

6 年	3 年	
↓		
4 年	3 年	2 年

学習指導・生徒指導・学校行事等の連続性・継続性の重視

- 前期学年（小1～4年） 学級担任制
- 中期学年（小5～中1年） 一部教科担任制  
(中1は教科担任制)
- 後期学年（中2・3年） 教科担任制



#### 一体型一貫校の取組モデル

- ・職員室が1つ
- ・会議や研修等も全職員
- ・全教員に兼務を発令
- ・学校行事も一緒
- ・PTA組織も1つ

## 7. 考 察

この度、宮崎県日向市を視察させていただいたのは、同じ市内に一体型小中一貫校と連携型小中一貫校があると聞いたからであった。しかし、正確には、一体型小中一貫教育と連携型小中一貫教育とう教育システムであり、現在の法律では同一敷地内にあっても〇〇小学校、〇〇中学校と区分され、教員の発令も小学校教員、中学校教員と区別されているの実情であった。そのため、全教員に兼務発令をすることでクリアしている。

また、小中一貫教育の真の目的が9年間の継続的な教育であるのは確かであるが、中1ギャップの解消も大きなウエイトを占めていることに正直驚きを隠せなかった。

プ)の解決を模索していく中での導入であったことが伺え知れた。

小中一貫教育に限らず、何か新しいシステムを導入する場合、予算や現行法令の壁が常について回るが、これらを如何にクリアするかがその自治体の力であり、知恵であることが再認識させられた視察でもあった。そして、なにより多くの市民に理解と協力（日向市小中一貫教育審議会やふるさとの時間等）があったからこそ成しえた小中一貫教育システムであった。

名取市においても、これから開校する閑上小中一貫校をはじめとする教育システムには、市民の理解と協力そして常にシステムの点検と改善が必要であることを提言したい。

#### 参考文献

- 平成28年度 市議会のしおり：日向市議会
- ひゅうが学校教育プラン：日向市教育委員会
- 日本大百科全書（ニッポニカ）



パワーポイントを使用している説明

日向市が、全国に先駆けて小中一貫教育を取り入れたのはこのような事情（中1ギャップ



青雲倶楽部／市政クラブ 行政視察 2016.07.26 (火) ～28 (木)  
鹿児島県いき串木野市・姶良市・宮崎県 日向市



7/28 (木) 日向市





日向市 教育委員会 学校教育課

課長

塩月 勝比呂

SHIOTSUKI KATSUHIRO

〒883-8555

宮崎県日向市本町10番5号

TEL 0982-52-2111 内6220

FAX 0982-54-2189

E-mail: moon-salt@hyugacity.jp



日向ひよつとこ踊り  
(市指定無形民俗文化財)

宮崎県日向市議会

議長 畝原 幸裕

市議会 日向市本町10番5号

TEL (0982) 52-8348

FAX (0982) 52-8148

自宅 日向市東郷町山陰丙776番地14

TEL・FAX (0982) 69-2389

日向市教育委員会

学校教育課

指導主事 岩原 教 昌

〒883-8555 宮崎県日向市本町10番5号

TEL 0982-55-8089

FAX 0982-54-2189

E-mail: n-iwahara@hyugacity.jp



毎年8月 第1土曜日開催

日向ひよつとこ夏祭り <http://www.hyottoko.jp>

日向市教育委員会

学校教育課

課長補佐 高 森 賢 一



〒883-8555

宮崎県日向市本町10番5号

TEL 0982-55-8089

FAX 0982-54-2189

E-mail: k-takamori@hyugacity.jp